

事業番号	09 03 08	事業改善シート（24年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	森のエネルギー総合推進事業費			担当課	部局	林務部
<参考> 総合5か年 計画	プロジェクト	3-2-4 環境・エネルギー自立地域創造プロジェクト		課・室	信州の木振興課県産材利用推進	
	施策の総合的展開	1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり 2 信州の木の利用促進		E-mail	mokusai@pref.nagano.lg.jp	
				実施期間	H14 ~	

1 事業の概要

目指す姿	地域の資源である、木質バイオマスの利用推進を図り、再生可能なエネルギー自給型のライフスタイルを具現化するため、ペレットストーブや木質バイオマスを活用したボイラーなどの導入支援を行うことにより、木質バイオマスエネルギーの促進に向けた取組を推進し、地球温暖化防止に貢献する。 木質バイオマス生産量 17千m3→109千m3(H32)					
現状	○木質バイオマスの利用量：現状17千m3に対して長野県森林づくりアクションプランの目標である109千m3 (H32)を達成するためには、計画的な供給施設、利用施設の一体的な整備が必要					
県が関与する理由	<input type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他()		【左記の説明、根拠法令等】 <input type="checkbox"/> 木質バイオマス産業化促進整備事業補助金交付要綱 <input type="checkbox"/> 森林整備加速化・林業再生事業交付金交付要綱			
事業内容	① 成果目標(H24)					
	木質バイオマス生産量の増加量 5,000m3/年					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H24事業実績		H24	H25
				(当初)	(決算)	(当初)
	1.公共施設等利活用施設整備	補助	・未利用材活用機械及び木質バイオマス利活用施設の整備(9件) (補助率:1/2以内) ・市町村が事業主体となり実施する個人向けペレットストーブの導入(42件) (補助率:1/2以内:上限10万円)	92,000	63,601	126,000
	2.普及促進	県・補助	・木質バイオマス地域活動支援事業 ・木質バイオマス普及啓発事業	2,500	2,035	
	合計			94,500	65,636	126,000

事業 コスト	区分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越	76,370				項目	現況(見込)	H24			H25 目標
		当初予算	89,000	65,500	94,500	126,000			目標	成果	達成状況	
		補正予算	-47,500	-25,432	-24,567							
		合計(A)	117,870	40,068	69,933	126,000						
	Aの財源	国庫支出金	16,305	5,908			木質バイオマス生産見込量	17千m3	22千m3	達成	100.0%	27千m3
		県債										
		その他(繰入金)	101,565	31,060	69,933	126,000						
		一般財源	0	3,100	0	0						
	決算額(B)	114,775	36,968	65,636	126,000							
概算人件費	職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20							
	概算人件費(C)	1,663	1,652	1,652	1,652							
概算事業費(B(A)+C)	116,438	38,620	67,288	127,652								

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・大震災以降、再生可能エネルギーに対する意識の向上で化石燃料を使用しない木質ペレットストーブの導入意識は年々増加している。 ・H22年度から導入した環の住まい助成金や信州エコポイントにより、部局横断的にペレットストーブの導入促進施策を展開した。 ・ペレット燃料使用量に応じて購入代金を還元する仕組みであるカーボンオフセットも全国に先駆け実施し積極的な支援を行っている。 ・発電施設に供給するためのチップ製造機械の導入支援を行った。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのよう にしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 ・東日本大震災を契機に自然エネルギーに対する期待が高まっており、長野県にある豊かな森林資源を活用した木質バイオマスの利用を推進し地球温暖化防止を図るため積極的に当事業を推進し、カーボンオフセットシステム等と連携して事業を推進する。
-------------------------	--